

協定留学近況報告書

記入日	2022年 11月 08日
留学先大学	ヴェネツィア大学
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2022年9月ー2023年7月
明治大学での所属	国際日本学部 国際日本学科
学年(出発時本学での学年)	学部 3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

あらかじめしておいてよかったことは3つ挙げられる。外貨獲得と資金調達、そしてアパート探しだ。急激な円安の懸念をしていたため、日本銀行や政府の動向には目を光らせ、妥当な時期を見計らって、外貨を購入していたことはよかった。また、1年間知見を増やすために旅行や食費、滞在費への大幅な出費が見込まれていたため、アルバイト等で貯金を作り、日本学生支援機構等からの借金を申し込んだ。アパート探しで多くの知り合いが困難を抱えていた。寮の運営は必ずしも円滑でなかった。また、アパートも空きがなかなかないようだ。私は出発の半年前からアパートを探し始め、3か月前には契約をはじめ事なきを得た。派遣校が見つかり次第住居探しを始めるが無難だろう。

万全を期していたので準備不足なことはなかった。

アドバイスとしては日本及び世界のニュースや新聞記事にアンテナを張ること。その土地の文化や価値観をあらかじめ学ぶことは準備を容易くさせるので、その土地に住む友達にコンタクトをとったり Hello Talk で話したりするのも一つの手だろう。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:学生ビザ	申請先:イタリア大使館(東京)
ビザ取得所要日数:2週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:0円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

- (1)パスポートサイズの写真(近影・カラー)を貼付したビザの申請書
 - (2)パスポート本券(帰国予定日より数えて90日以上有効期間が必要)とそのコピー
 - (3)住民票
 - (4)イタリアに滞在する全期間を通じて医療費を完全にカバーする(医療費の項目が無制限の)海外傷害保険の契約書
 - (5)留学の資金が入っている本人名義の預貯金口座の通帳とそのコピー
- *1年間であれば100万円以上入っていればよいとのこと。(2022年6月時点)
- (6)イタリアにおける住居場所に関する証明書
 - (7)留学先の発行する入学許可書オリジナル(原本)とそのコピーを一部
 - (8)教育監督局の認可を受けていることを証明する書類、または学校の経営母体である会社の商工会議所の直近の登記簿謄本
- *明治大学より付与される認定留学に関する大使館あての書類の事。

具体的な申し込み手順を教えてください。

大使館にメールを送り、ビザ申し込みのアポイントメントをとる。ビザは住居の契約時に必要なときもあるため、早めに取りに行くのが最善手だろう。大使館にて申し込みが無事完了すれば、ある一定の期間を置いて(私の場合は2週間)好きなタイミングで発行されたビザを取りに大使館に向かう。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？					
なかった。					
ビザ取得に関して困った点・注意点					
<p>アポイントメントのメールをおくっても返ってこなかったことが困った。しつこく何度も送り続けるとよい。また、アポイントメントの日時は大使館が勝手に決めるので、あらかじめ空いている日にちを指定するか、予定が合わなかった場合変更をお願いするメールを送るとよい。</p>					
II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)					
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)					
<p>Microsoft や Google アカウント等に段階認証が携帯電話の SMS で行われることが多い。そのため、登録した日本の携帯の Sim カードは解約せず予備の携帯に挿入し海外でも使えるようにしておくことがよいだろう。私は一番安いプランに切り替えて、よく使う形態にはイタリアで購入した Sim カードを挿入している。</p> <p>外貨獲得には SMBC 信託銀行の国際キャッシュ、デビットカードの Global Pass プレスティアがおすすめだ。要件を満たさなければ月額 2000 円ほどの口座維持手数料がかかるため注意が必要だ。しかし、携帯アプリで日本円建ての口座から外貨建ての口座に好きなタイミングで低レートで換金できたり、外貨建ての口座から海外の ATM で手数料なしで引き出せたり、留学生にはメリットが多いと考える。詳しくは SMBC 信託銀行のホームページを参照してほしい。</p>					
III. 現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	エティハド航空				
航空券手配方法	エティハド航空のサイト ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ミラノ・マルペンサ空港	現地到着時刻	7:55		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	4 時間				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
空港からシャトルバスに乗る。10€でチケットを購入できる。					
大学到着日	8 月 14 日 20 時頃				
2.住居について					
到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日 から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input checked="" type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()		
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()		
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(2 人のイタリア人ハウスメイト)				
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()				
住居の申込み手順	<p>すでに入居している人(現ハウスメイト)と連絡を取り合い、必要な書類のデータを送ってもらい記入したのち送付。彼女が大家さんとの仲介者になってくれたため、当方から大家さんと連絡を取り合うことはなかった。ビザの提出が必要だったが、ビザ取得に関する学校からの書類がなかったため、約 1 か月待ってもらい契約が完了した。</p>				
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？					
渡航の 3 か月前に見つけた。トラブルは特になし。					

3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	授業開始前後約 1 か月。
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は？	オンラインからの参加であった。内容はホームページに記載されていることと全く変わりがなかった。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月 12 日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

- ①滞在許可証が必要。郵便局にて Kit と呼ばれる必要書類を無料でもらい、
 - ②Tabacchi と呼ばれるタバコ屋で 16€分の marca da bollo と呼ばれる切手を購入。
 - ③必要条項を記入し、最後に切手を貼り付ける。
- *条項の記入は複雑なので、イタリア人に助けを求めたほうがよい。
- ④封筒に入れた書類を郵便局に持ち込み 100€程を支払い警察署に送付する。
- *この時に警察署へのアポイントメントが自動で行われる。
- ⑤後日警察署にて必要書類提出などをおこなう。

イタリアの行政機関は複雑怪奇なので注意が必要。私の場合は警察署へ行く予定が来年 3 月となっていた。1 学期のみの学生ならもう日本に帰っていてもおかしくない。不安なことはイタリア人に聞くとよい。また、郵便局では英語を話す人が少ないので、イタリア語での会話が不安なら、イタリア人の、またはイタリア語が達者な知り合いや友人に同伴してもらうのがよさそうだ。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

ヴェネツィアの交通機関カード“Venezia Unica”。Piazzale Roma のオフィスにて発行。10€を手数料として支払う。ヴェネツィア大学の学生カードをホームページから予約し、オフィスにて受け取る。無料。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設していない。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

購入していない。

V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(6月10日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

留学生向け科目が公開され履修手続きをメールで行うことができた。その他通常科目はポータルサイトから行う。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

イタリア語のクラスが簡単すぎたので、中級のクラスに変更してもらった。変更や追加は非常に柔軟にできる。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00	授業①		授業①				買い出し等
12:00							
13:00							
14:00		授業③		授業⑤	授業⑤		
15:00				授業①			
16:00	授業②						
17:00			授業④	授業④	授業④		
18:00							
19:00							
20:00	料理	料理	料理	料理	料理	料理	料理
21:00							オペラ・映画鑑賞
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

自分の希望を実現できているのでとても満足だ。私はイタリアの文化が好きで、真にそれを学ぶにはイタリア人と、アパートで暮らすことが重要だと考えていた。実際、様々な食材やお酒を試してみたり、様々な料理をイタリア人のハウスメイトたちと作り、食べるなかで、徐々に食に対する姿勢を学び感じ取ったり、日本との暮らしの違いを体感したり、エクスクルーシブな生活を実現できた。その分1部屋625€(光熱費を除く)となかなか大きい支出になったが、将来イタリア専門商社に勤めたい私にとっては許容できる値段だ。

授業は日本と変わらず、先生が一方向的に教えるスタイルが多く見受けられる。日本同様インタラクティブでないのは残念だ。授業への参加は必須ではなく、テストに合格することで単位がもらえる授業が多い。

様々な交通機関を試し、アブダビ、ピエモンテ州やトスカーナ州、エミリアロマーニャ州、ロンバルディア州、ラツィオ州、フランス、クロアチア、スロヴェニア、オーストリア、ドイツに旅行をした。生活様式や都市構造の変化を垣間見ることができるのでよい。なかでも印象に残るのは、ピアチェンツァという小さい町に住む友達を訪ねた時だ。週末ということで彼女の祖父母宅で食事をするようになったのだが、庭のテーブルでたくさんの料理とワインをご馳走になったのだ。ビュッフェ形式ではなくantipasto, il primo piatto, il secondo piatto, il dolceと順番に沿って食事が出され、それぞれに合ったワインを飲み、最後はグラッパを飲んで締める。気づかないうちに、近所の知り合いの人たちが来て一緒に食卓を囲み陽気におしゃべりをし、ゆっくりと一日を過ごす。イタリア人だけ、ほぼイタリア語だけの環境に身を置いたことでイタリア文化の神髄を感じられた気がした。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

イタリアの行政はカオティックなので、日本の役所のような円滑さを期待しないこと。
幅広く情報を集めること。